

**「そりのあるかたち'90」
澄川喜一**
清瀬に長年住んでいた名誉市民である彫刻家澄川喜一による「そりのあるかたち」シリーズの一作。日本独自の「そり」の美をテーマに、張りつめた緊張と静けさを同居させています。

**キヨセ
ケヤキロード
ギャラリー**

**きよせの人たちが選ぶ
この彫刻が好き！**

**「いちじく」
掛井五郎**
大胆さのなかにユーモラスさを感じさせる造形。作者の心の様子が作品に現れ、見る人の想像を誘う不思議な存在感を放っています。

**「標甲」
清水九兵衛**
体に馴染むような造形を好む作家らしい、抽象的な発想から生まれた作品。通りの三叉路に立ち、道ゆく人の目印のように佇んでいます。

**「追想.....町をゆきて」
マリオ・チェロリ**
イタリア出身の世界的作家による作品。幼い頃から魅せられてきた「馬」を題材に、人間精神の躍動と生命の連続性を象徴的に表しています。

**「花のこころ」
城田孝一郎**
清瀬在住の作家による素朴な人体像。やわらかな量感と静かな仕草が、通りの風景に溶け込みながら、見る人に親しみを感じさせます。

どこにあるの？
作品マップは[こちら](#)

彫刻は、清瀬駅北口から市役所方面へ続くけやき通り沿いに点在。郷土博物館では地図を無料配布しているので、お気に入りの一体を探してみよう。

戦後から80年 祈りをかたちに きよせの 平和祈念 プロジェクト

広島市の平和記念式典で届けられた折り鶴を再利用し、
清瀬市が障害福祉施設と協力して製作した「おりづるコースター」。
さらに、広島で平和学習に取り組む市内の児童生徒による
「ピース・エンジェルズ」の活動など、
清瀬の平和祈念事業を紹介します。



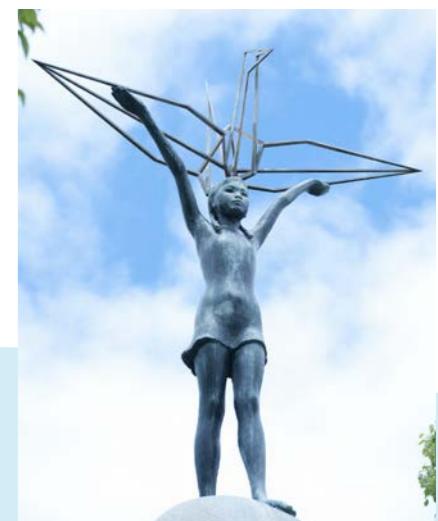
おりづる コースター

手のひらに広がる平和の祈り

清瀬市では、平和祈念事業の一環として、国内外の平和への想いを身近に感じてもらうために「おりづるコースター」を作りました。「」スターは、広島平和記念公園に内外から届けられた折り鶴を再活用し、広島廿日市市の障害者福祉施設「リバティーはつかいち」で再生紙として生まれ変わったもの。直径9cmの丸形で、折り鶴と清瀬市の象徴であるひまわりの絵をあしらったオリジナルデザインです。市内の小中学生へ配布し、家庭でも平和について考えるきっかけとして活用されています。

ピース・ エンジェルズ

平和の大切さを自分の目で見て、心で感じてほしい——。そんな願いから始まったのが、清瀬市の「ピース・エンジェルズ」です。平成7年度より、市内の小学5年生から中学3年生までの児童・生徒を代表として広島に派遣し、平和記念式典への参列や資料館の見学、被爆者講話などを通して学びを深めています。現地学習後は、体験をまとめたスライドや言葉で伝えました。



未来へつなぐ平和の学び